

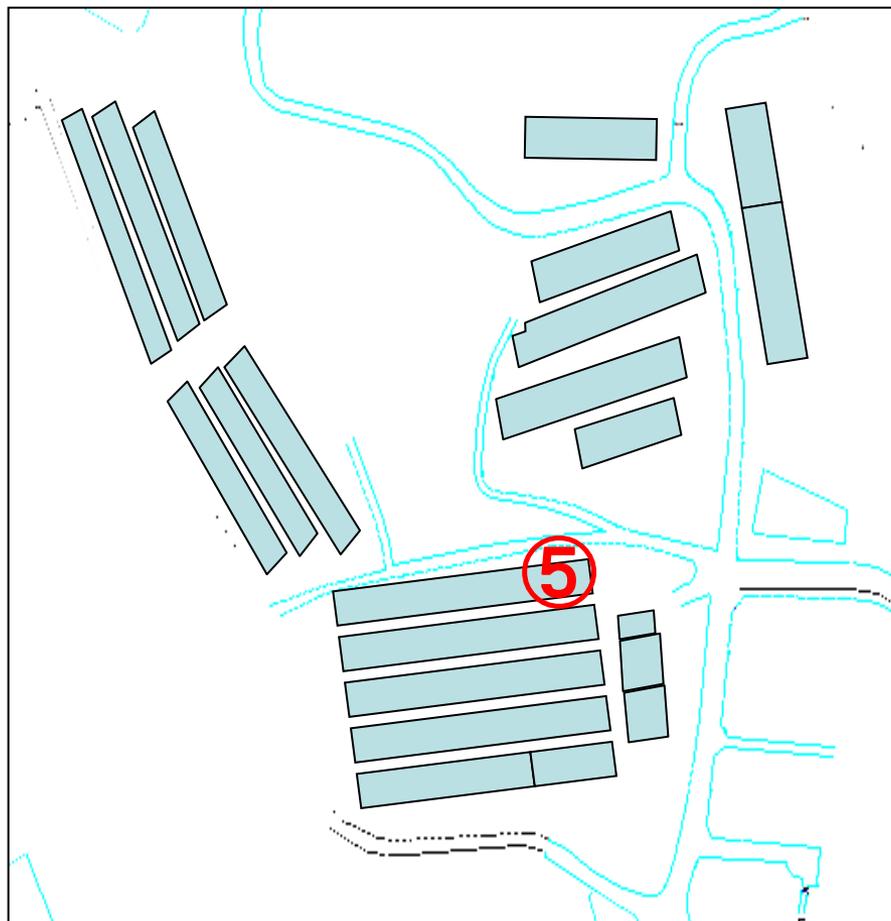
写真1

農場概要

鶏卵衛生管理体制整備事業で 550日齢採卵鶏の採材

材料	結果
環境スワブ ・給餌器 ・給水器 ・ネスト ・壁	—
盲腸便	+
生産卵	—

+で*Salmonella.Virchow*分離



鶏に異常なし

図1 1回目成績

1回目 サルモネラ陽性

サルモネラ陽性の場合の対応マニュアル
[農家と家保で対策を検討]

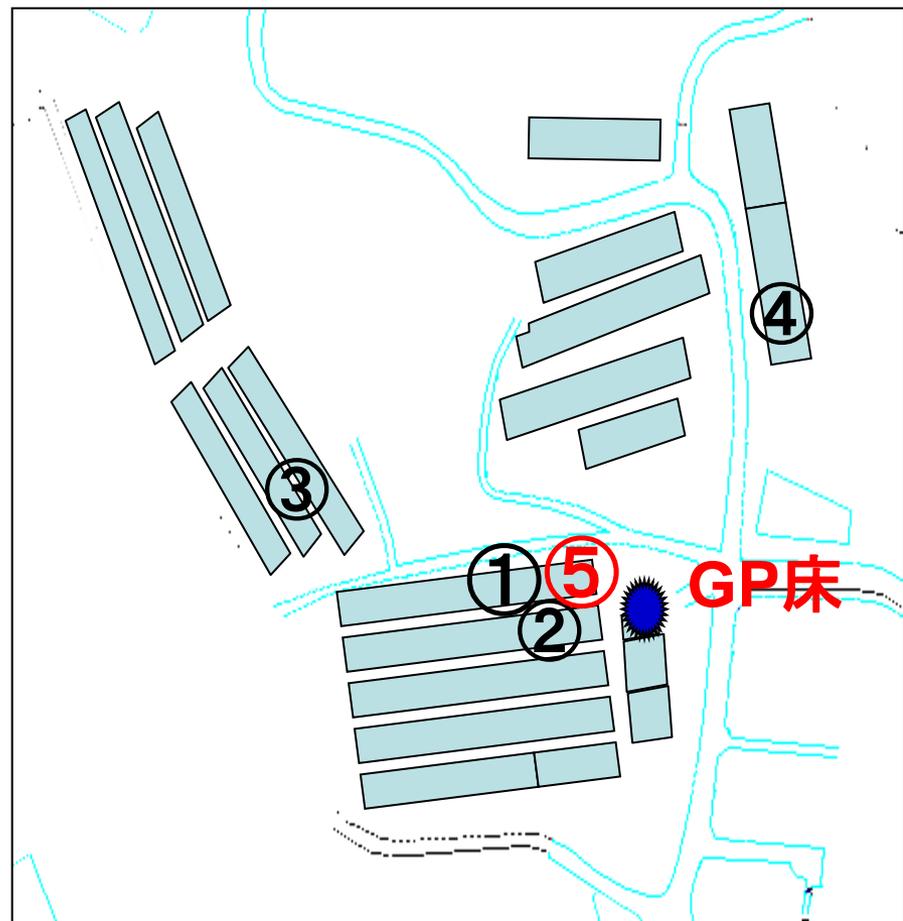
①農場で過去に分離歴はなかったので
農場内詳細な汚染状況把握  第2回検査

②陽性鶏群の早期出荷が生産に与える影響を検討

図2 1回目検査後の検討

農場内汚染状況の調査

材料	場所	結果
盲腸便	①同ロット	—
	②隣	—
	③別の区画	—
	④育雛	—
	⑤再確認	+
環境スワブ	GP床	+



+でS.Virchow分離

図3 2回目成績

①マニュアルに基づいた対応

- 陽性鶏群の早期淘汰(肉用出荷しない)
- 陽性鶏舎内を逆性石けんで消毒

②家保の指導

※GP床の汚染→ 生産卵汚染防止対策

○GP専用履き物設置

○作業コンテナの床への直置き禁止

○動線整理のための仕切りカーテン設置

※農場従来のGP床消毒法の効果を検討

→ GP床消毒後に第3回検査を実施

※鶏舎内の堆積鶏糞を県外業者で堆肥化处理

図4 2回目検査後の検討

従来のGP床の消毒方法の 効果を検討

材料	場所	結果
環境スワブ 床	GP	+

+でS.Virchow分離

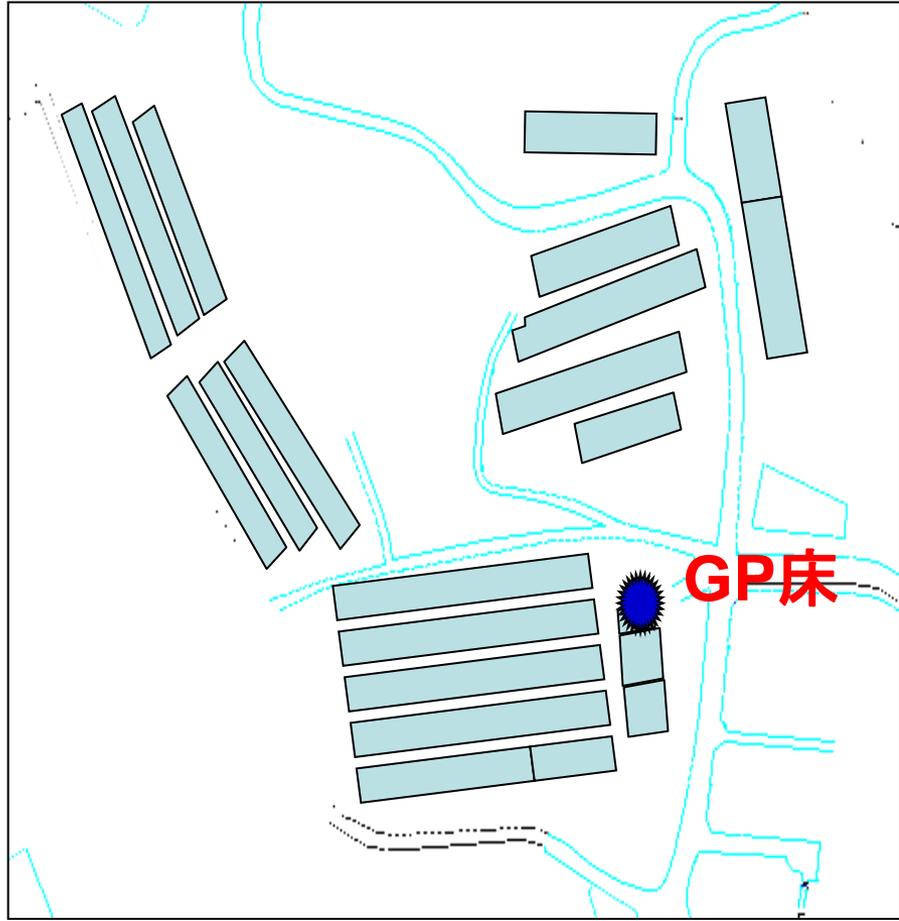


図5 3回目成績

GP消毒法の改善の指導

- ① 逆性石鹼GP消毒後の乾燥時間の延長
- ② GP内オゾン消毒濃度を上げる
- ③ 夜間のオゾン消毒

改善の効果検討 → GP床の再々検査(第4回検査)

陽性鶏群の出荷後にも関わらずサルモネラ分離

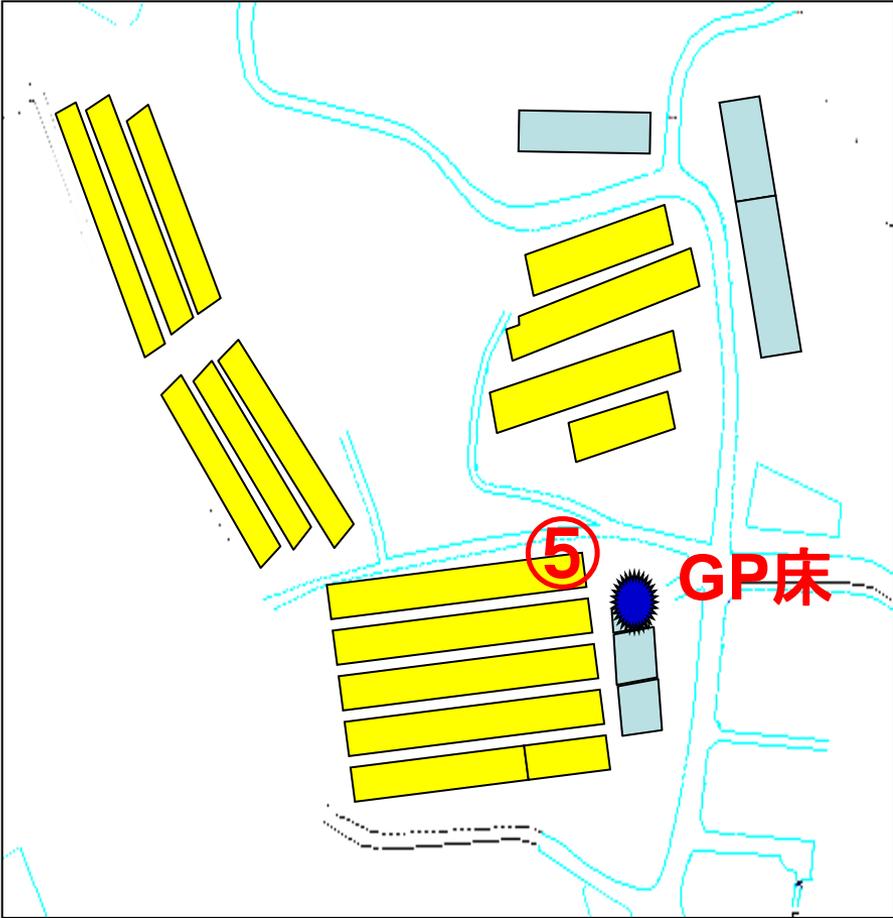
① 鶏舎外環境汚染? → 敷地の消毒を指導

② 詳細な汚染状況把握

→ 全鶏舎から盲腸便採材(第4回検査)

図6 3回目検査後の検討

材料	場所	結果
盲腸便	全採卵16鶏舎	—
盲腸便	肉用鶏舎	—
環境スワブ ・床	売店	—
環境スワブ ・ネスト ・壁 ・床	⑤ 陽性鶏舎	—
環境スワブ ・床	GP	—



サルモネラ分離なし

図7 4回目成績

システム認証農家でサルモネラが分離された

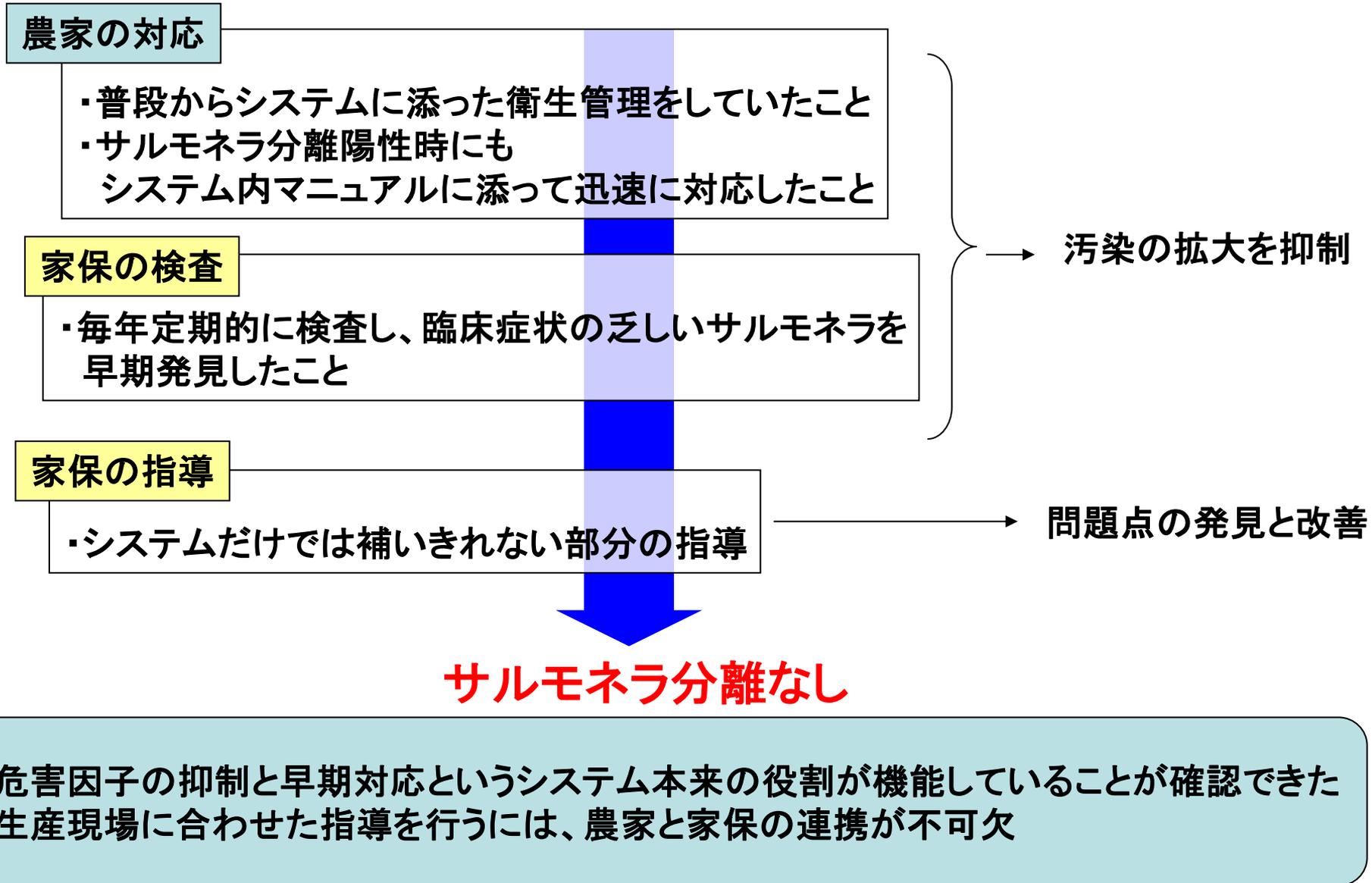


図8 まとめと考察